



様式第 1 号

令和 5 年 3 月 13 日

真庭市議会  
議長 小田 康文 殿



真庭市議会議員 吉原 啓介

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

- 1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動
- 2 訪 問 先
 

---

 ①さいたま市・大宮駅東口まちづくり事務所  
 ②農林水産省
 

---
- 3 内 容
 

---

 ①公共施設の再編・民間資本活用によるまちづくりの事例視察  
 ②政策オープンラボ(国産インディカ米プロジェクト)との来年度の連携に向けた打合せ
 

---
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要  
※①のみ (②は不要)

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。

# 行程表

令和5年3月28日	移動日	17:20	岡山空港 (※真庭→空港は自家用車)	JAL
		18:45	羽田空港	
		19:02	羽田空港第1ターミナル	東京モノレール
		19:23 19:32	浜松町	JR
		20:20	北浦和	
令和5年3月29日	移動	9:22	北浦和	JR
		9:29	大宮	
	①さいたま市・大宮駅東口まちづくり事務所/Bibli (旧・大宮図書館)	10:00～ 12:00	公共施設の再編・民間資本活用によるまちづくりの事例視察	
		12:29	大宮	JR
12:36		北浦和		
令和5年3月30日	移動	14:26	北浦和	JR
		15:05 15:17	東京	
		15:22	霞ヶ関	東京メトロ
	②農林水産省	16:00～ 17:30	農林水産省・政策オープンラボ (国産インディカ米プロジェクト) との来年度の連携に向けた打合せ	
	移動	18:04	霞ヶ関	東京メトロ
		18:09 18:14	東京	JR
		18:48	北浦和	
令和5年3月31日	移動日	8:26	北浦和	JR
		9:09 9:12	浜松町	
		9:35	羽田空港第1ターミナル	東京モノレール
		10:25	羽田空港	JAL
		11:45	岡山空港 (※空港→真庭は自家用車)	
※宿泊 さいたま市浦和区北浦和5-3-3 A-812 (留守宅) 080-5006-8389				

## さいたま市 公共施設の活用事例視察について

対象施設：Bibli（旧・大宮図書館）

所 在：さいたま市大宮区高鼻町 2-1-1

※公共施設の民間事業者による活用案件

担当部局：さいたま市大宮区吉敷町 1-124-1

さいたま市都市局 都心整備部

大宮駅東口まちづくり事務所

電話番号 048-646-3289（事業推進係）

048-646-3283（管理係）

ファックス 048-646-3292

訪問希望：令和5年3月29日（水）10:00

（3/9に大宮駅東口まちづくり事務所/長谷川様に連絡・3/29午前中の訪問

およびヒアリングについては了承いただいた。）

内 容：民間資本による活用決定に至るまでの経緯

前記にかかる市の担当部局内での議論や議会・市民への説明

公共施設の再編、老朽化した施設再配置計画における当該施設の位置づけ

※詳細は改めて整理して事前にお伝えする。


訪 問 者：吉原啓介（真庭市議会議員）連絡先 080-5006-8389



# 報 告 書

令和5年4月3日

真庭市議会議長 小田 康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 吉原 啓介 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

## 記

### 1. 公共施設の再編・民間資本活用によるまちづくりの事例視察

#### (1) 日時

令和5年3月29日 10時00分～11時30分

#### (2) 場所

さいたま市 大宮区役所 (6F 大宮駅東口まちづくり事務所)

#### (3) 出席者

相手方担当者：さいたま市都市局都心整備部  
大宮駅東口まちづくり事務所  
事業推進係長 長谷川潤氏  
技師 福田翔平氏

当方出席者：吉原

#### (4) 用件

民間資本による公共施設活用例の視察及び経緯等のヒアリング

#### (5) 概要

区役所新庁舎建設・施設統合に伴い用途廃止された旧大宮図書館の活用にかかる手続きの進め方についてヒアリングを行った。

〔先方の回答要旨〕

○さいたま市・大宮駅東口まちづくり計画は、最上位計画である「総合計画」→「都市計画マスタープラン」および「公共施設総合マネジメント計画」に基づく都市整備計画として策定されている。

○同計画においては、旧大宮市役所をはじめとする大宮駅東口の公共施設



の長期的視点に立った維持管理費用削減に向けて、施設の更新・統合・床面積削減の方針を定めている。

○旧大宮図書館については、築後50年以上経過していることから、新築される区役所新庁舎にその機能を移転したが、建物自体の耐震性には問題ないこと、隣接する大宮博物館建物との一体開発（再建）を視野に入れていることから、まず最初の段階で、10年間の期間限定での暫定活用という方針を定めた。

○どのような施設とすればよいか、住民の意見を収集するため、意見交換会を開催した。その際、市からの一方的な説明とならないよう、公共不動産や遊休施設の活用に取り組んでいる民間事業者意見交換会の進行を委託した。

○市の財政負担が生じないよう、民間資本による施設整備を目指した。（施設の整備にかかる工事費用は利用する民間事業者の負担とすることを条件とした。）

○また、施設の活用（貸出）を市の収入につなげるため、提案コンペに際して前記の整備費用負担のほか賃料の支払いを求めることとした。

提案コンペに先立ち、必要と思われる工事費用を市のほうで調べたところ、見積り額が予想外に高いことが判明・事業者候補が辞退する事態となってしまったため、総額負担軽減の観点から下限賃料を大幅に引き下げた。

（目安としたのは固定資産税相当額程度。）

○このような経緯ののちに、中堅ゼネコンが名乗りを上げてくれたので、地域活動団体との共同運営の形で事業を委託できることとなった。

## （6）所感

まちづくりや施設再編に向けた具体的な計画策定・実行にあたり、やはり上位計画としての都市計画・立地適正化計画を明確化・実質化していくことの必要性を強く感じた。

また、具体的な施設再編計画策定や実施に向けた住民への計画説明、意見の聴取・とりまとめに際しては、行政からの一方的な説明とそれに対する質問、という形ではなく、実際の事業実施の経験を有し多角的・専門的な知見を有する事業者を会のファシリテーターとして登用することの有効性も認識した。

## 2. 政策オープンラボ（国産インディカ米プロジェクト）との来年度の連携に向けた打合せ

### (1) 日時

令和5年3月30日 16時30分～18時00分

### (2) 場所

農林水産省 本館会議室 No. 259

### (3) 出席者

相手方担当者：農林水産省政策オープンラボ  
伊藤直樹氏 三浦寧音氏

当方出席者：吉原

### (4) 用件

国産インディカ米プロジェクトの今年度の活動概要及び来年度に向けた意見交換

### (5) 概要

〔先方の説明要旨〕

○今年2月、香港とインドで日本産プリンセスサリーの試食会を行った。インドについては、白米の状態での出荷が諸般の手続きの関係でできなかったため、パックスライス加工したものを使用した。

総じて、海外においては「インディカ米」ではなく「粘りの少ない日本米」という印象が強かったようだ。

○用途としても、普段現地の人々が食べているインディカ米の特徴を残しつつ日本米のような食感があることから、日本食レストラン等でのニーズがあるのではないか、という現地プロモーターからの話もあった。

○試食会の状況、アンケート結果その他詳細については現在、プロモーションを委託したコンサルティング会社において資料を取りまとめ中であり、4～5月頃には正式な報告会が開催できると思う。

○基本的に、コメの輸入にかかる各国の障壁はかなり高いものがあり、輸出の実現に向けては、やはりパックスライスやアルファ米等への加工は避けて通れない課題となるのではないかと。

### (6) 所感

今年度、落合エリアの地域振興事業として、農事組合法人が連携して本種の生産に取り組むとともに栽培データの收拾・整理を行うが、販路拡大のためには加工・製品化が重要となるため、次のステップとしてマーケティング主体となる組織作りの必要性を再認識した。

以上



Kobayashi Isao

このプロジェクトの企画・発案段階から関わらせていただいたいます。まずは、この魅力的で親しみある建物を取り壊すことなく、もう10年活用することができるということに感激しています。このプロジェクトが地域の方々から愛され、このエリアの新たな誇りとなること、そして、本市を代表する市民連携のモデルとして全国に発信できるよう、これからもOCLと二人三脚で取り組んでまいります。

さいたま市大宮駅東口まちづくり事務所 小林 功



Miyamoto Yasushi

浦和で市民の方達と始めた本庁舎前ナイトマーケットなど公共空間活用の活動を通じてバイクロアさんと繋がりが、戸田建設さんと引き合わせたことがOCLチーム誕生のきっかけとなりました。ローカルの小さな取組みがこういった大きな事業に繋がるといふ好事例としていきたいです。本市で計画されている他の市民連携事業にローカルな要素を入れる参考として、多くの市職員にも知ってもらいたいと思います。

さいたま市 PPP コーディネーター 宮本 恭嗣



Kikuchi Marie

氷川参道という素晴らしい周辺環境ではあるものの、駅からは距離があり事業的には決して好立地ではなく、もともと取り壊し予定であったため行政予算が一銭もかけられない上、老朽化が激しく民間の改修コストも見えない。更にコロナも重なる中、成立が非常に難しい条件調整でしたが、非常におもしろいチームに手を挙げてもらうことができ大宮のポテンシャルを感じました。

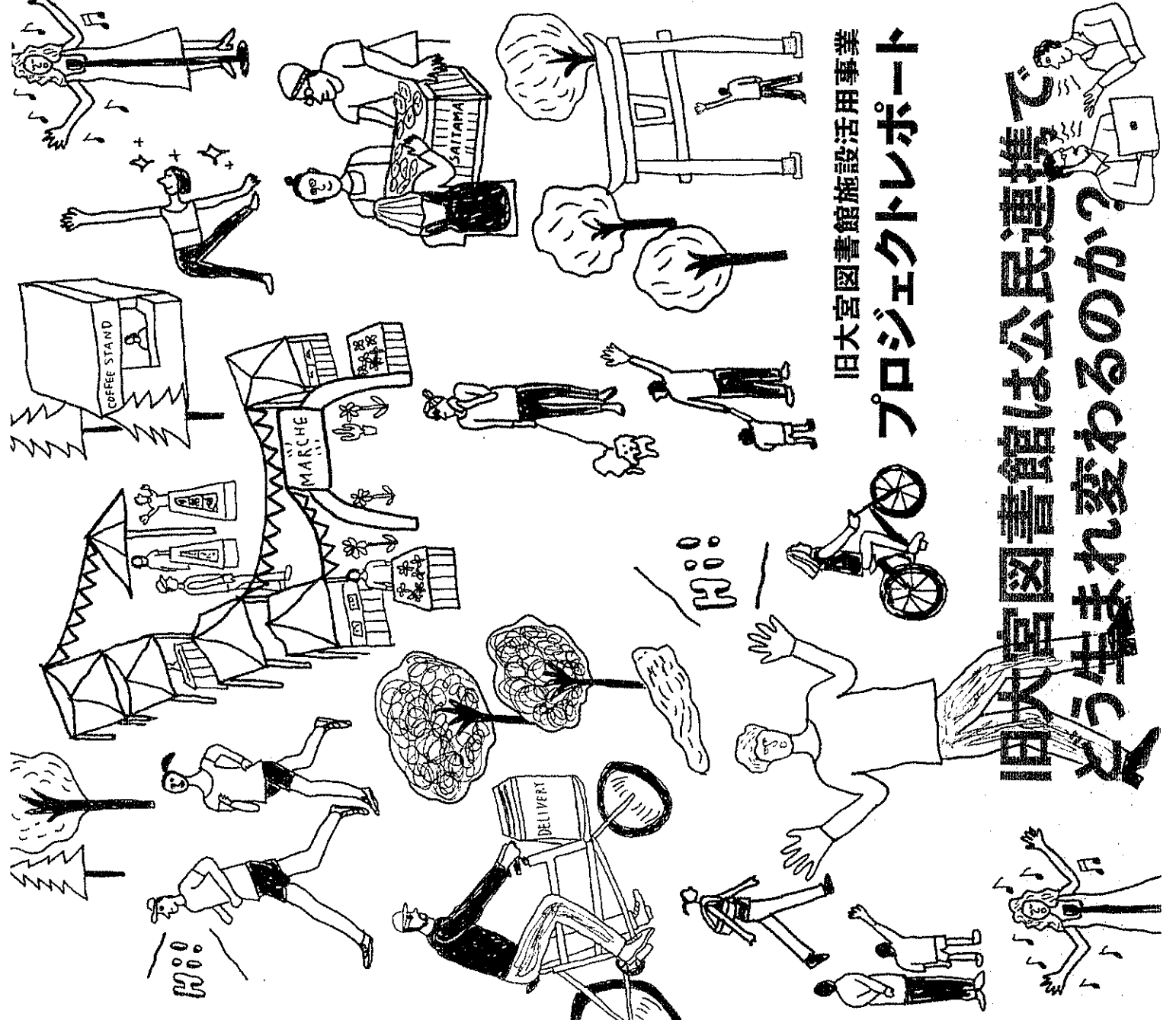
公共R不動産 菊地 マリエ



Kikuchi Junpei

アイコン的な建物と氷川参道のケヤキ並木、地域に愛されるとても魅力的な場所。一方で事業的には厳しい条件でもありましたが、それを超えてOCLチームで運営することとなり期待が膨らんでいます。何より市役所のみならずの熱意があったからこそ実現したプロジェクトであり、自身でも訪ねたことを嬉しく思います。リニューアルした旧大宮図書館に訪れる日を楽しみにしています。

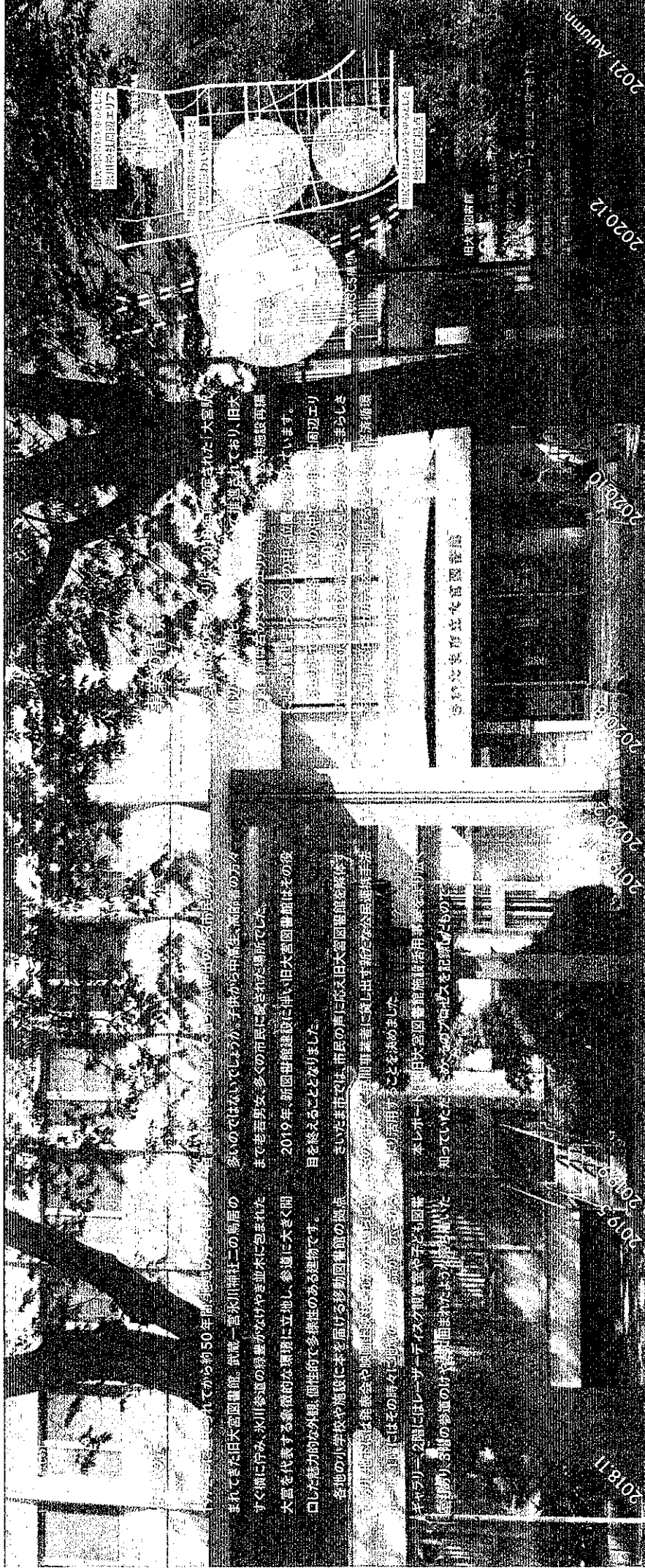
公共R不動産 菊地 純平



# 旧大宮図書館施設活用事業 プロジェクトレポート

## 旧大宮図書館は公民連携で どう生まれ変わるのか？

作成日：2021年3月  
発行先：さいたま市都市高層心連携部大宮駅東口まちづくり事務所  
TEL 048-646-3289 / 3290  
FAX 048-646-3292  
E-mail: omyia-higashi-machikukun@city.saitama.lg.jp  
企画・編集：公共R不動産【株式会社オープン・エー】  
デザイン：西井新子【CHICAGO Design Office & Bookstore】  
※この冊子は1000部作成し、1部あたりの印刷費は80円です。

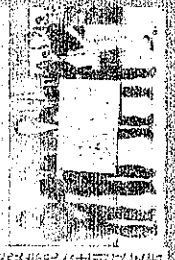


日本図書館協会 2021 Autumn  
 秋の読書会  
 読書会  
 読書会  
 読書会

日本図書館協会 2021 Autumn

KICKOFF TALK

「未来の図書館」を語る



「未来の図書館」を語る  
 日本図書館協会 2021 Autumn

2020.10  
 2020.10  
 2020.10  
 2020.10

2019.11  
 2019.11  
 2019.11  
 2019.11

2019.10  
 2019.10  
 2019.10  
 2019.10

2019.9  
 2019.9  
 2019.9  
 2019.9

2019.8  
 2019.8  
 2019.8  
 2019.8

2019.7  
 2019.7  
 2019.7  
 2019.7

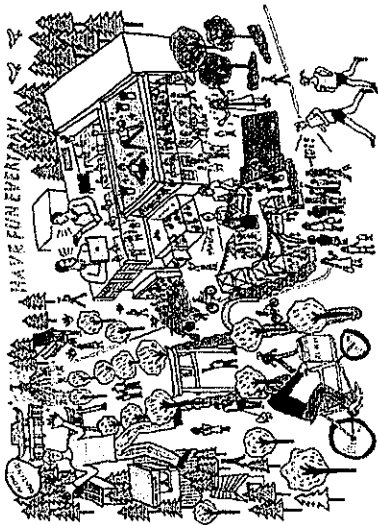
2019.6  
 2019.6  
 2019.6  
 2019.6

2019.5  
 2019.5  
 2019.5  
 2019.5



# OMIYA COMMON LIBRARY

活用事業者として選定された「OMIYA COMMON LIBRARY」は、戸田建設株式会社関東支店、戸田ビルパートナーズ株式会社、株式会社キャンパスサイト、一般社団法人バイクアロアからなるコンソーシアム。ここでは、提案された内容をご紹介します。



## OMIYA COMMON LIBRARY

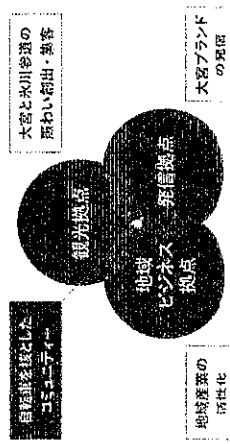
OMIYA COMMON LIBRARY CONSORTIUM	
事業主体【代表】	建物管理
戸田建設株式会社 関東支店	戸田ビルパートナーズ株式会社
全国各地で公共施設の設計、建設などを多く手がける総合建設会社/ゼネコン。関東支店はさいたま市にあり、地域貢献のため今年以降に深く関わった。	戸田ビルパートナーズ株式会社 「建物の一生を見守る」を会社のミッションとして掲げ、清原・笠井・野村などあらゆる管理業務を有する、ビルメンテナンスのプロフェッショナル。
設計・タウナマネジメント	イベント・コミュニティづくり
株式会社キャンパスサイト 建築設計や施設運営、コンサルティングを手がける。長野県茅野市ではコワーキングスペースやキャンプ場を運営し、デザイン・プロデュースに加え運営の支援を持つ。	一般社団法人バイクアロア さいたま市を拠点に、毎年おとなと子ども自転車運動会を全国各地で開催。自転車を通して地域貢献/サイクリカルチャーターの発信・普及を進めている。

## 「観光・地域ビジネス・発信」3つの拠点

これからの大宮の新しいライフスタイルを形成する拠点として、①大宮と氷川神社の賑わい創出・集客のための観光拠点、②地域ビジネスの活性化を支える企業・創業拠点、③大宮ブランド形成の核となる情報発信拠点として、3つの役割を担います。

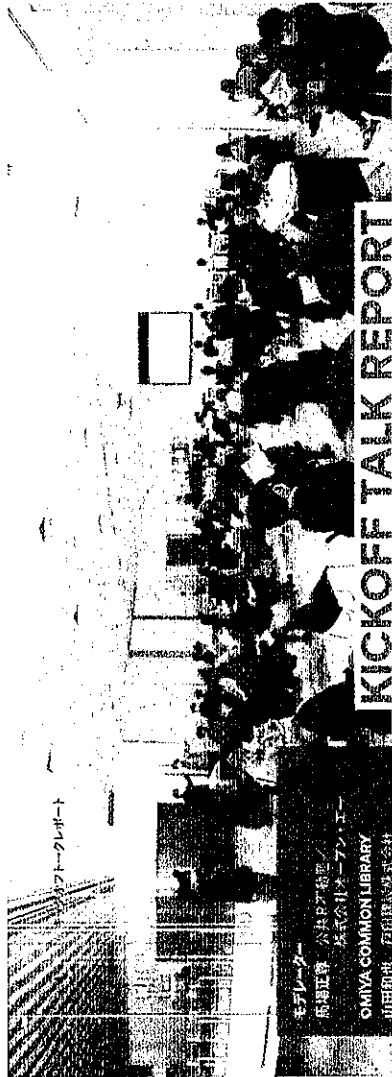
## 落ち着いた賑わいと地域住民の接点が生まれる場所

非日常的なイベントやお祭だけでなく、日常的な賑わい、地域で働き、地域のひととの繋がりが、観光客が集う街づくりを、自転車(バイクアロア)を核としたコミュニティとともに育みます。



※2020.8に提案された時点のものです。実態内容には変更の可能性がございます。

資料提供：戸田建設株式会社 関東支店



2020年12月13日、市民のみならず活用の事業者決定も披露イベントとして開催された「キックオフトーク〜旧大宮図書館リノベーションプロジェクト」。

イベントでは、OMIYA COMMON LIBRARY(以下、OCU)のみならずゲストを交えた7名のクロストークで、OCUのプロジェクトにける想いをお伺いしました。

## 攻めと守りを兼ね備えたチーム構成

馬場 まずこの事業のおもしろいところはチーム構成だと思えます。なにより、信頼と資金力をもった大企業と、地元ネットワークやコンテナ力をもった事業者という、攻めと守りを兼ね備えた素晴らしいバランス。どうやってこのチームアップができたのか、そもそもどんな想いでこの事業に手を挙げるようになったのでしょうか。

松原 僕はずっとさいたま市で育ってききましたが、どんな開発されて子供の頃の風景がなくなっていることを寂しく感じていました。ただ、氷川参道周辺のエリアは昔ながらのいい雰囲気が残っていて、最後の希望のように感じています。それが一番の原動力になっていきます。

馬場 記憶の継承のようなことがモチベーションになっているんですね。

孫 もともと知り合いだった松原さんから、ワインの美味しいお店があるよ、くらいに軽いお誘いで大宮にきて(笑)、街をたくさん案内していただきました。氷川参道を歩いたり、森蔵なお店にいったり、レンタルサイクルで盆栽町や大宮公園を巡ったり。とても楽しくて、歴史もあるいい街に徐々に惹かれていきました。最終に「また来たい!」と思う、そんな実体験からでした。

山田 私たちの会社は関東支店をさいたま市内に構えて

います。これまでは建築物の施工、設計を本業としていたのですが、これからは地域に貢献する事業を展開したい、ゼネコンとしても新しいことに挑戦していく段階にあるのではないかと、ということから事業者として手を挙げることになりました。そこに、バイクアロア・キャンパスサイトチームが関心を持っているという話を聞き、話し合いを重ねる中で、お互いの描くビジョンがすりあっていく、チームを組むことになりました。

対馬 私たちの会社のビジョンは「建物の一生を見守る」ということです。地域に愛されているこの建物に携われるということは嬉しく思っています。緑の下の力持ちとして、チームを支えながら地域に貢献したいと思います。

馬場 戸田建設のような大きな会社から見れば儲かる事業ではないように思いますが(笑)、新しい挑戦がなければ企業も活性化しないというベンチャー的な試みなので

## 地域を見直すツールとしての“自転車”の可能性

馬場 提案のコンセプトに「自転車」を核としたコミュニティ」という言葉があります。そこにバイクアロアの核である「自転車」は具体的にどのような関係性で

しょうか。

**松原** 一つは、自転車というモビリティを使ったまちづくりです。大宮城には氷川神社をはじめ益徳稲荷や狭道御物館、そしてこだわりをもった小さな飲食店が多く、魅力的なコンテンツがたくさんあるので、自転車で大宮周辺をぐるっとまわられるツアーを考えたいです。

**馬場** もう一つはマイクログリッドです。例えばカーゴバイクで、地域のみなさんに旧大宮図書館のテナントとなる方々のお料理や野菜などを届けます。ただ届けるだけでなく、その先でコミュニケーションをとりながら関係性を築いていく、いわば「現代版三河屋」さんをやりたいと思っています。

**馬場** 新しい物流であり、日常と観光の間であるような、地域を見直すツールとしての自転車ですね。このような事業に対して、地域の立場としてはいかがでしょうか。

**遠藤** この地域は地元の人々にとっても大事な場所です。いろいろな歴史があるので、モビリティというものもストーリーを継承する一部になると思います。私たちがとっては氷川参道は聖地でもありますが、そこに人力車を走らせ氷川神社に来ていただく箱船式、なんてこともいいですね。氷川神社としてもぜひコラボしていただきたいです。

**馬場** すてきなアイデアですね。氷川神社とOCLがコラボレーションしたときにどんなことが起こるのか、期待大ですね。

**宮本** このプロジェクトが始まった時から、「ローカル」や地元経済への貢献にこだわってきました。大都市ほど大企業やチェーンを誘致したくなりがちですが、その色が強まりすぎると地域らしさが薄まってしまいます。また、今後、大宮駅東口では公共施設再編事業が立て続けに予定されていますが、氷川参道という立地からも、この地域

らしさは大切な要素だと思っています。なので、今後入居されるテナントさんともそういったことを大切にしてください。方々だと嬉しいですね。

### 新しい「大宮らしさ」体現する拠点

**馬場** 公共施設を民間事業者に賃貸し、リノベーションして使ってもらおうというのは、市として初めての取り組みですね。行政としてはどんな期待をされていますか？

**宮本** はい。まず、実はこのプロジェクト、設備状態もよくない老朽化した建物を原則全て事業者の負担で改修して事業をやってもらおうという、さいたま市にとっては非常に虫のいいスキームなのですが、この条件でOCLさんが手を上げてくれ、挑戦していただけたということは本当にありがたいです。その分、さいたま市としても協力できること、サポートできることは全力でしたいと思っています。

**馬場** そうですね。設備の改修だけでも莫大なコストがかかりますよね。OCLのみなさんはそれだけの覚悟とリスクを負っているわけですから、行政も二人三脚でつくりあげていかなければなりませんね。

**宮本** その上で、行政としての期待という話でいうと、大宮や浦和は、まだまだ人口が増え、住みたい街ランキングの上位になるほどですが、その分地価が高い。チャレンジをする場が少ないことを課題と感じています。公共施設や公共空間はそういう市民やベンチャー企業がチャレンジできる舞台になるのではと思っています。このプロジェクトが試金石になり、こういう場が増えていってほしいですね。

**馬場** 大宮市だからこそ、市民や事業者が自由に表現できる場は重要ですね。

**宮本** 三浦屋さんの「首都圏大予測」という書籍の中で、

これからは郊外の時代だ、生き残るのは「クリエイティブサバール」だ、と述べられています。サバールとは郊外の意味ですが、その要素は、ワークアップで夜の娯楽があり、人のスキルや物・場所をシェアし、多様性を認める、そんな都市だと定義づけられています。それは大宮にぴったりだと思います。このプロジェクトが、そんな要素や魅力を高めていくきっかけとなっしてほしいですね。個人的にもとても楽しみにしていますし、行政の立場でも、当事者としてオープン後も一緒にチャレンジしていきたいと思っています。

**馬場** 確かに、大宮にとって「クリエイティブサバール」はいいキーワードですね。

**宮本** 旧大宮図書館は、さいたま国際芸術祭で「サークレレーションさいたま」という市民プログラムの会場として、多くの方々の活動拠点として利用されています。芸術祭の期間後も情報可能に何らかの形でそういう活動を展開していきたい場所にもなってくるといいなと思います。

**馬場** なるほど。すでにチャレンジの場となるポテンシャルをもっているわけですね。それが新しい「大宮らしさ」につながっていくかもしれませんね。

### みんなの新しいチャレンジや成長をもたらす場に

**馬場** そんな地域からの期待に対して、OCLとしてはどんな風に広げていきたいですか。

**篠** 提案の中で「タウンマネジメント」という考え方を重視しています。いわば、プライベートとパブリックの間のコモンのような部分です。地域の方々と接点を持つような場所や機会を作りたいと思っています。具体的にには、施設を訪れる方同士のコミュニティ形成や、地域

向けのイベント企画など、関わってもらったための工夫をたくさんしてきたいと考えています。

**松原** バイクロードのイベントでいろんな街に行く機会が多く、それぞれ街の外モノ目線だとキラキラして見えるものがないの？「みたいなの返事がきたりします。そんなことが大宮にもたくさんあると思いますので、そういう、潜在的な魅力を輝いて探訪していくような場所にしたいです。

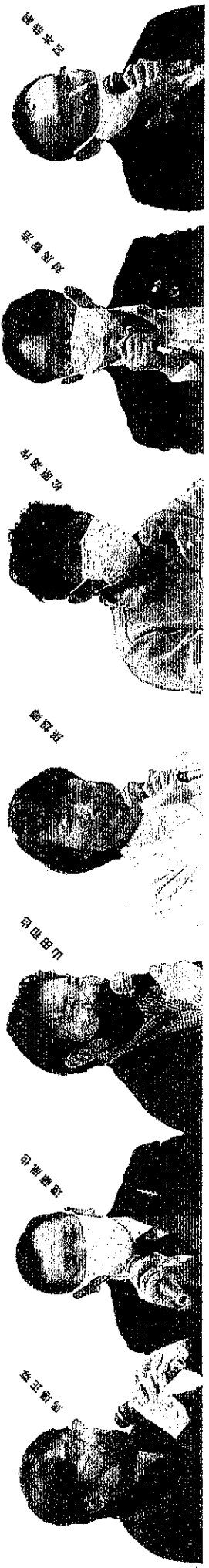
**馬場** 会場からはこんな意見も届いています。チーム名の「OMIYA COMMON LIBRARY」に図書館の機能はないと思うのですが「ライブラリー」に込められた意味を教えてください。

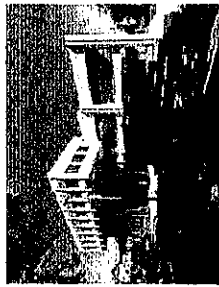
**山田** まず図書館だった記憶を継承すること。それに加え、図書館は新しい発見をしたり、人を成長させたりする場であり、今回のプロジェクトを通じて、私たち自身が、そして入居テナントのみなさん、この場所を訪れるみなさんにとっても、新しい発見や成長をもたらす場になってほしいという想いを込めています。

**馬場** さいたま市にとっても、事業者にとっても、新たな挑戦であり大きな覚悟や決断の上で実現したプロジェクトだと改めて実感しました。日本全国をみてもインパクトの大きな公民連携事業になると思います。トークイベントでもみなさんから積極的な意見やアイデアがたくさんまわりました。これをきっかけに、市民のみなさんが主体的に関わりたりするようになる場をつくられていくといいなと思います。ぜひOCLのみなさんにはおもしろい企画と空間を開発されることを期待して楽しみにしています！

OCLのみなさんから、事業にかけられる思いを伺い、期待感溢ったキックオフイベントとなりました。

施設のオープンには2021年の秋頃を予定しています。今後の展開にご期待！



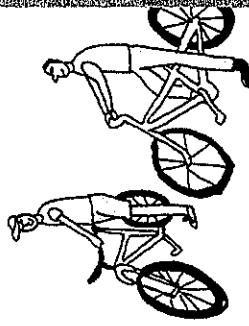
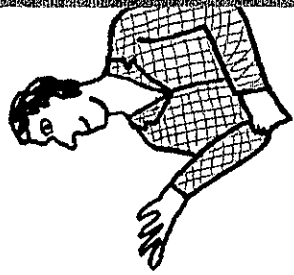
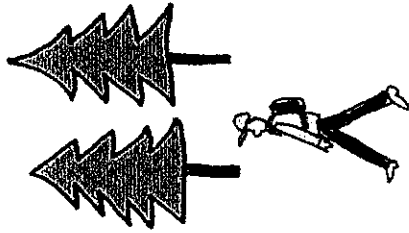
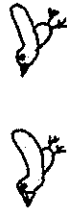


たのしさ、あつまれ。  
みんなの、ひろば。

半世紀にわたり図書館として  
地域の方々に親しまれてきた建物が  
店舗とオフィスを中心とした  
複合施設に生まれ変わりました。

大宮に暮らす方、大宮を訪れる方を  
やさしく、そしてゆるやかに繋ぎ  
あたたらしい魅力をつくりだす。

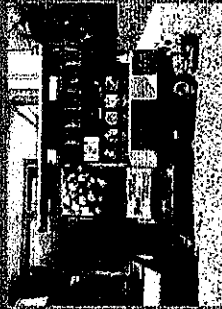
人と、情報と、たのしさが集まる  
大宮のコモンプレイス  
BY  
「Bibli」です。



MONTHLY EVENT

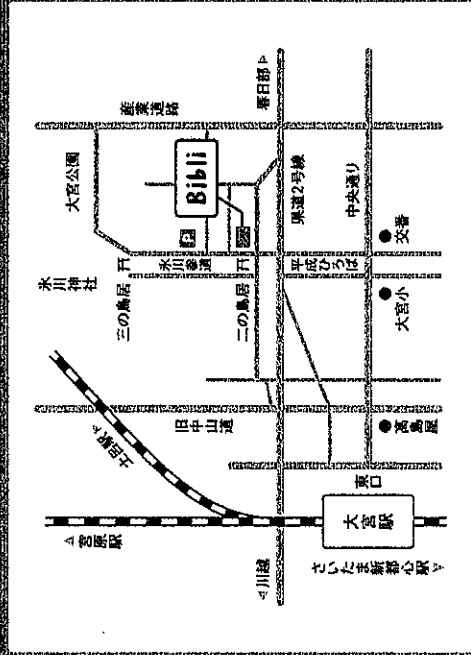


KITCHEN CAR



毎月開催のイベントは、大宮駅西口の賑わいを演出するだけでなく、大宮の魅力を発信する役割も果たしています。また、大宮の魅力を発信する役割も果たしています。

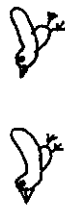
ACCESS



所在地	〒330-0803 埼玉県大宮市東区大宮1-1-1
営業時間	平日 9:00~18:30 / 土日 10:00~18:00 入館無料（入館料10分、川越3の図書貸）
休館日	毎月第4日曜日（行政機関の休日の場合）
駐車場	埼玉県大宮市東区大宮1-1-1（Bibli）
HP	<a href="http://bibli.jp">http://bibli.jp</a>

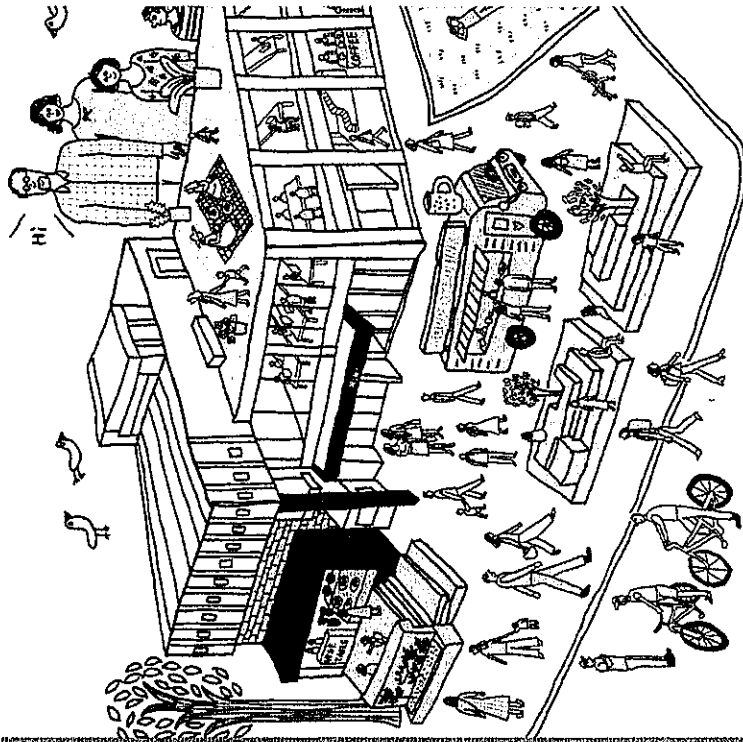


WEB SNS



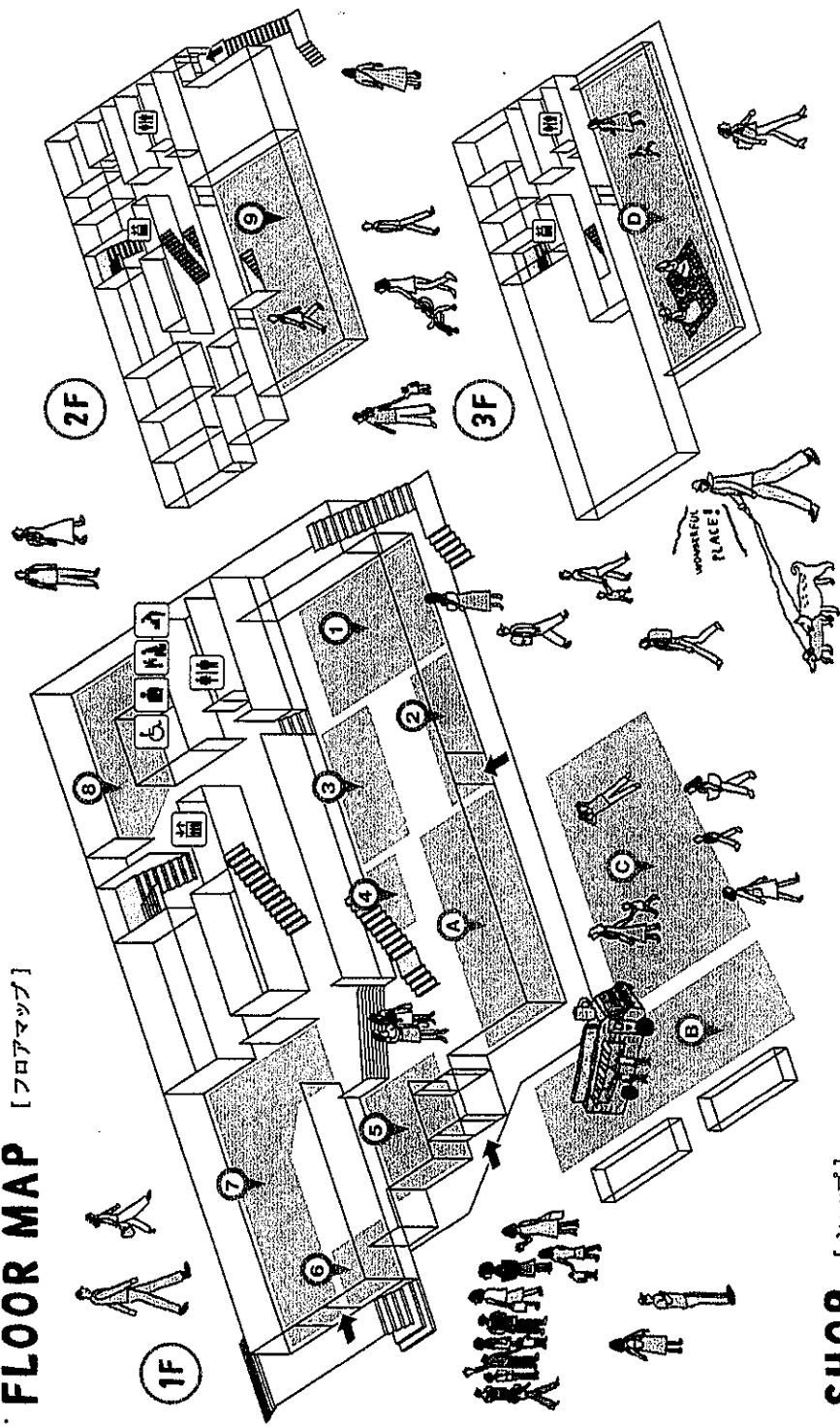
# Bibli

## Floor Guide



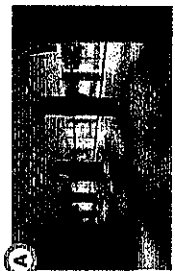
HAVE A GREAT DAY!

# FLOOR MAP [フロアマップ]

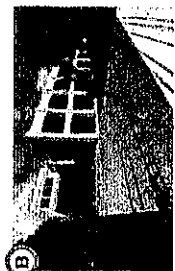


# EVENT SPACE [イベントスペース]

Bibiではイベントスペースの貸し出しもおこなっています。コミュニケーションの賑わいを創出する各種グループ展示・ワークショップなど、ご利用希望の方は、Bibiオフィシャルサイトよりお問い合わせください。



**Bibiホール (110m<sup>2</sup>)**  
Bibi唯一の屋内イベントスペースです。ポップアップストアの出店やキャラクタースペースとしてご利用いただけます。



**じやりんご広場 (145m<sup>2</sup>)**  
参道に面し、通りから最も視認性の高いスペースで、キッチンカー出店のほか、テントを張ってマルシェなども開催できます。



**さくら広場 (170m<sup>2</sup>)**  
一面の芝生が気持ちの良い広場はマルシェや各種ワークショップに最適。じやりんご広場と一体利用することで参道への視認性も高まります。

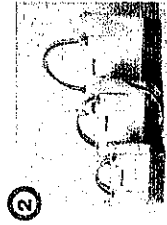


**壺上広場 (410m<sup>2</sup>)**  
駒込感状群のテラスは、ヨガ教室などのワークショップのほか、お子さま向けの教室等も安心してご利用いただけます。時間帯でご予約可能です。

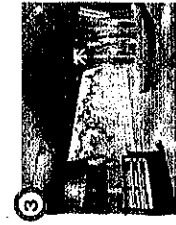
# SHOP [ショップ]



**kico 樹粉** 11:00~17:30 (月曜・水曜定休日)  
埼玉県幸手市にあるパン屋「cimai」がディレクションするお店。パンに使う素材はできる限り安心・安全なもの、そして美味しい素材を使用し、数種類の食パンを中心に販売いたします。食パンにフルーツとクリームを挟んだり、自家製餡子を挟んだり。コーヒー・紅茶に加え、季節のフルーツを使った飲み物などを提供いたします。



**MOUNTAIN DA CHERRY** 10:00~18:00  
~Let's make it together~  
自分好みのモノづくりを、一緒に楽しもう! オリジナルバッグブランド「MOUNTAIN DA CHERRY」が展開する参加型ショップ。物販のほか、定期的に職人さんをお呼びしてワークショップを開催。モノづくりの楽しさをお客様と一緒に味わえるショップを目指しています。



**TOMARIGI「とまり木」** 11:00~17:00  
“もっと身近に日本伝統文化に触れて頂きたい” アルファクラブグループは埼玉の地で60周年を迎えました。結婚式場にはドレス以外に、産着から七五三・成人式・卒業袴等、人生の節目に欠かせない衣装を取り揃えております。また、日常のお祝い事にもご利用頂ける情報発信等、生活に寄添える空間となります。



**Full Bloom Flower** 10:00~17:00  
「お花のある暮らしをコンセプトにお花の楽しみ方をご提案していきます。お花から感じやパワーをもらい、日々の生活に彩りや彩りをプラスしませんか? 日常に気軽に花を取り入れる方法を、メンテナンスに手間がかからない「プリザーブドフラワー」や、ワークショップなどを通してお伝えしていきます。



**バイクロア** 12:00~18:00  
埼玉を中心に、全国で自転車＆アクティビティイベントを展開するBIKELOREがセレクトしたブランドのPOP UP展開。サイクリングガイド業務やメンテナンスのスキルなど、サイクリストに寄り添ったサービスを展開します。保存料、着色料、乳化剤不使用の素材にこだわったオリジナルフレバーアイスとオリジナルブレンドコーヒーも販売。



詳細ご案内まで、少々お待ちください。  
**Hi**



**Organic&Co.** 11:00~19:00 (土日祝10:00~19:00)  
オーガニック野菜の専門店“八百屋”です。店内の隅々しい野菜果物から作ったスムージー・クラフトビール等も併設のボタニカルバーでお楽しみ頂けます。ゼロウェイストを目指し、プラスチック包装を極力使用しない量り売りですので、どうぞエコバックをお持ちください。



**ハウス HUMBUS** 11:00~18:00 (月曜定休日)  
ハムハムスは、全国の公務員ハイヤーが選んだ逸品が並ぶアンテナショップ「ハムショップ」、1階1コーナーの図書館&本屋「ハムブック」、キッチンカー専用のシェアキッチン「ハムクック」からなる、みんなの好きな「J」に出会えるオルタナティブシェアプレイスです。



**公益社団法人 さいたま観光国際協会** 平井9:00~17:45 (土日祝定休日)  
さいたま市の観光、コンベンション・国際交流事業の振興を、国際社会の発展と国際化に資することを目的としています。観光イベントの開催、市内誘客、コンベンション誘致、支援、会員サービス、地域の国際交流等の事業を行っています。



さいたま観光国際協会  
さいたま市観光国際協会